

「はい、小宮ふるさと
自然体験学校です」



今年の3月に138年の歴史に幕を下ろし閉校となった小宮小学校には、小宮地区の恵まれた奥山の自然環境を利用した独自の授業が存在していました。なしる、学校の前に清流養沢

川が流れ、学校裏の坂道を登っていくと光明山、馬頭刈山へと至る登山道になるのですから、自然環境を体験するにはもってこいの場所です。子どもたちの感性を育むために自然を利用しない手はないわけです。小宮地区の子どもたちは、馬頭刈山登山はもちろんのこと、校内の敷地を流れる湧水を活用したヤマメの飼育、校舎の裏にある炭窯での竹炭の製作といった特別な授業が代々受け継がれてきました。このような授業は、他の小学校ではやりたくてもなかなか実施することのできない、自然豊かな小宮地区ならではの授業だったのだと思います。

この豊かな自然環境の中で感性を育むという小宮小学校の精神は、9月に開校となった「小宮ふるさと自然体験学校」へと受け継がれます。例えば、森林レンジャーと共に昔道を歩き歴史と自然を学ぶプログラムでは、昔道に残る先人たち

の生活の痕跡をたどりつつ森の中を歩くことができます。昔道の途中にある馬頭観音や炭焼き窯の跡からは小宮地区の歴史を学ぶことができ、また、今は動物たちも多く利用している昔道にて森と動物の繋がりを目にすることができます。他にも川の生きものの探しや巨木めぐりなど、四季折々の小宮地区の自然を体験できるプログラムを提供していく予定です。

自然体験学校では野外プログラムだけでなく、室内の展示でも周辺の自然を知ることが出来ます。玄関では間伐材を利用した木の下駄箱と大きな根つが来校者を出迎えます。そして、動物の足跡をたどって展示室に向かうと、木の一生を模した展示やレンジャーたちが調べた森の展示などがあります。ぜひ皆さん、木の香りのする「小宮ふるさと自然体験学校」に一度お越しください。

(佐々木)